

ピアス同意書

ピアスの穴開けの施術において起こり得る合併症・後遺症については、

『医療過誤』とは成り得ないことを下記の内容も含め十分ご理解いただくようお願いいたします。

【ピアッシング後の注意事項】ケアが不十分な場合、下記のようなことが起こる可能性がございます。

- ピアスを着けている間は無意識に圧迫したり、引っかいたりすると感染症を起こすことがあります。また、着替えなどの際にピアス部分を引っ張ってしまうことで、まれに皮膚が裂けてしまう場合があります。
- 体質や個人差もありますが、ピアスホールが完成するまで最短でも1カ月はかかります。その間にピアスが外れてしまうと穴が塞がる場合がありますので外れてしまった場合は早めにご来院ください。
- ホール完成後であってもピアスを外したままにしていると、ピアスの穴は閉じていきます。

【ピアッシングにあたり起こりうる有害事象及びそれらに関する注意事項】

- ピアスの穴を開けた後に出血することあります。
- 体質(特にケロイド体質の方)によってはピアスの周囲の皮膚が赤く盛り上がることもありピアス周辺にしこりができることがあります。
- ピアスの穴を開けることにより細菌やウイルスなどに感染し、腫れ・赤み・痛み・熱感などの炎症症状や化膿を起こすことがあります。異常を感じた際は早めに受診ください。(化膿や耳たぶが避ける等のトラブルが発生した場合、治療には別途料金が発生します)
- ピアス穴あけの位置は最終的に自己決定していただきます。左右の位置のズレなど事前にご確認ください。穴開け後の場所の変更などは対応を致しかねます。(開け直しをご希望の際は別途料金が発生します) また、耳の高さ・大きさ・傾きは個人差がありますので、後ろ側の留め具の位置が必ずしも左右対称にはならないことをあらかじめご了承ください。
- 当院では医療用ステンレス、チタン製のピアスを取り扱っております。特にチタンは通常の金属よりアレルギー反応が起きにくい性質となっておりますが、必ずしもアレルギーが生じない訳ではありません。

【その他、ピアッシングに関する注意事項】

- ピアスの穴あけは、予測不可能な不具合や偶発的な事故により極めて稀に失敗することがございます。その際は誠意を持って対応させていただきます。ピアッサーは無料で新品へ交換し持ち帰っていただくか、可能であればあけ直しをいたします。なお、発生において予測不可能な不具合や偶発的な事故は免責事項とさせていただきます。またピアッシング直後のお申し出以外は有料でのあけ直しとなります。
- 患者様のご都合によるあけ直しは有料となり、位置に近い場合は穴を一度塞いでいただく必要があり数日たってから再度来院いただく必要がございます。
- ファーストピアスはホール完成までの間、簡単に外れてしまわないようキャッチは固く設計されています。手が滑らないようティッシュなどを使い、ピアス頭部とキャッチをしっかりと掴んで外してください。ご自身で外すことが困難な場合はクリニックで外すことも可能です。(ピアスの取り外しは診察が必要です。別途費用もかかります。)

◆感染や耳たぶが裂ける等のトラブルが発生した場合、ホールを塞がずに治療を行うことが可能です。医師にご相談下さい。

なないろクリニック 院長 西島 昌美

同意年月日 年 月 日

本人氏名

保護者氏名